



学校だより

# 鯛ノ巣

●学校スローガン

夢キラリ! 笑顔ひろがる阿井小学校 150

あいさつ・一生懸命・あいじょう

島根県仁多郡奥出雲町立阿井小学校 令和5年12月号 12月21日発行

イスラエルとパレスチナの紛争が続いています。テレビのニュースで映し出される映像には、目を背けたくなるようなものも少なくありません。大げがをして泣きわめく幼い子どもたちの姿もあります。あまりに残虐な行為が現代のこの世の中でも行われていることに、激しい憤りを感じます。同時に、何もできない自分の無力さを感じてしまいます。ウクライナに対するロシアの軍事侵攻も終わっていません。美しい星であるはずの地球上で、人間同士がいがみ合い、多くの尊い人命が失われてきた今年でしたが、争い合うことが完全になくなり、新しい年が平和な年になることを願うばかりです。

さて、このような情勢の中、学校ができることは、平和な世の中を希求する子どもを育てること、そして、一人一人の人権が大切にされる学校文化をつくることです。共に暮らす学校の仲間思いを知り、理解しようと努めることも大事なことです。小さな一歩ですが、同じ思いの仲間が手を取り合うことで、大きな力になり、平和な社会を築く原動力になるということを感じたいと思います。

## わかり合おうとすること 人権集会から

うん、うん、  
そうだね。

そんな考えも  
あるんだね。



13日に児童会主催の人権集会を行いました。10日の世界人権デー、4日から10日までの人権週間にあわせて実施したものです。今年は、「思いを知る・分かる・伝える」ことを大きなテーマとして、様々な活動を6年生が考えてくれました。7つのグループごとに活動を行い、振り返りの場で感想を伝え合いました。



「うまくボールが運べなくても大丈夫だよ。」

ボール送りゲームを行った後、車座になって振り返りを行いました。6年生が進行役となり、下学年の子どもたちの思いを引き出していきました。ゲーム中の気持ちは人それぞれ。思いも違います。自分の考えとは違う考えを受け入れ、理解し合う姿が見られました。

後半には、「好きな教科」「好きな動物」などを伝え合いました。小学校の仲間同士ではありながら、はじめて知ることも多く、とても楽しい時間になりました。

## PTA バザー ご協力ありがとうございました



16日に実施したPTAバザーでは、多くの方にお出かけいただき、ありがとうございました。収益金は、教育活動に活用させていただきます。なお、お古の制服・体操服については、1月の授業公開日にも学校昇降口付近で展示する予定です。ご家庭でねむっている制服等がございましたら、お持ち出しいただくとよろこびます。

ねむっている「制服・体操服」はありませんか？



交通安全活動(県自転車大会出場等)の推進に対し、雲南地区交通安全協会から表彰状をいただきました。これからも交通安全に努めていきます。

### 行事予定

- 12月.....
- 25日(月) 終業式
- 1月.....
- 9日(火) 3学期始業式
- 10日(水) 給食開始 委員会
- 12日(金) そうじ班長会
- 16日(火) スクールカウンセラー来校日
- 17日(水) 全校集会 クラブ
- 18日(木) スピーチ集会(1・3・5年)
- 19日(金) スキー教室  
(1~4年三井野原スキー場)  
中止時は対象学年弁当日
- 24日(水) 委員会
- 25日(木) 人権・同和教育に視点をあてた授業公開  
PTA 研修会(講演会)
- 31日(水) 後期学校訪問 児童集会(6年発表)
- 2月.....
- 1日(木) 新1年一日入学
- 2日(金) スキー教室予備日



### 冬の風景



12月22日 朝から雪がやむことがほとんどありませんでしたが、子どもたちは元気に雪遊びをしていました。



12月10日 肉眼では写真以上に霏がひらかっていました。幻想的な朝でした。

### 1月25日 PTA人権講演会 14:30~15:45

性の多様性を学び、自分らしさ、その人らしさを大切にする学校・社会づくりをめざした講演会を行います。松江市在住の佐藤さんをお招きして、4年生以上の子どもたちと一緒に保護者の方に聞いていただく予定です。地域の皆さまもご希望がありましたらぜひご参加ください。

全校児童が元気に2学期を終えることができました。地域の皆さま保護者の皆さまには、様々な活動にご協力いただき、たいへんありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、子どもたちは学びを深めることができました。

2024年も、一層飛躍する一年になりますよう、引き続きご支援をよろしくお願い致します。

よいお年をお迎えください。

# つながる学び ふるさとの学び

奥出雲町は子どもたちの学びの宝庫です。この町を知り、この町のよさや課題について考え、発信する。このようなふるさとを題材にした学びを連続させることによって、ふるさとを愛し、誇りに思う気持ちを育むことができます。さらに、ふるさとについての学習課題を解決させるためには、「見る・聞く・触る・取材する・感じる」などの五感をしっかりと使いながら学習をすすめていくことが必要です。課題を解決する過程をとおして、一人一人が学び方も身に付けることができます。ここで得た学びの力は小学校で完結するのではなく、生涯においても生きてはたらく「生きる力」として機能することができると思っています。本紙面では「つながる学び」「ふるさとの学び」をキーワードに、4年生から6年生の取り組みを紹介します。各学年の題材はそれぞれが単独の学習のようにも見えるかもしれませんが、たたら製鉄の副産物とも言える米づくりにもかかわるつながりのある学習にもなっています。また、過去から現在、子どもたちの将来にもつながる学びです。

## 宝水を生む川東水路

### 4年生

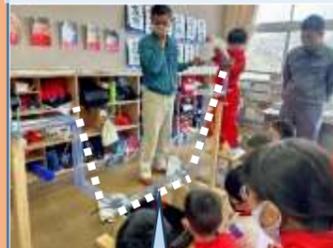


★川東用水の歴史や、役割などを見学の前に学びました。

★昭和初期に掘られた穴にパイプが設けられ、より安定的に水の供給が可能になりました。

★米原の深い谷に設けられたサイフォンのある場所から、東洋製鉄付近までを歩いて見学しました。

阿井小学校の校門の前には大きな顕彰碑があります。川東水路をつくるために貢献された3名の方を顕彰するものです。川東水路は、阿井地区の米作りにひじょうに大きな役割を担っており、この地域の食を支え、水力発電によるエネルギーを生み出してきました。しかし水路づくりはたいへんなものであり、水路の実現には多くの困難があったようです。課題を一つ一つ乗り越え、昭和3年の組合創設から9年を経て、昭和12年に完成します。さらに平成8年から6年間、改良工事が行われ、最初の竣工から約90年を経た現在もなお、農業用水として利用されています。歴史の中で受け継いできた地域の宝であり、子どもたちにとっても学びの価値のある大きな宝です。この学習には、地域講師として下阿井の福田さん、川東水利組合長の川角さん、奥出雲町土地改良区安部さん、落合さんにご指導いただきました。



★土地改良区の方の手作り実験器具を使ったサイフォン方式の実験をしました。

★谷を下った水は、圧力の力で一気に谷を上っていきます。(写真点線部分)

## 奥出雲のたたらを学ぶ体験学習

### 6年生



木炭と砂鉄を入れ続けます



25kgのけらが生成されました。

奥出雲町の6年生(一部は5年生)が取り組むたたら体験学習は、今年で20年目となりました。町内の小学校を卒業された30歳ぐらいから下の年齢の方がほとんどたたら操業を体験されたことと思います。古くからこの地で営まれてきたたたら操業を追体験することで得る学びはたいへん大きなものがあります。特に、本操業の日に、他校の子どもたちと役割を分担し合い、つながり合って操業を行うこと。そして夕刻に崩された炉の中から出てくるけらを皆で見ることは、心に刻まれる大きな感動体験です。

阿井小学校では、鳥上のたたら工房での活動に留まらず、教室でのたたら歴史を学ぶ学習、「たたらと刀剣館」、「櫻井家・加部屋集成館」、「たたら角炉伝承館」、福原棚田見学、鳥上追谷地区たたら操業跡見学などもあわせて行っています。たたらについて多面的な視点で学ぶことにより、深い理解につながっています。多くの方々に支えていただく中で、このような学びができていたことを本当にありがとうございます。

### 本操業が始まるまでが大事です

◆日刀保たたら、町教育委員会、各小学校管理職、実行委員会スタッフ等の協力により、体験活動の準備が行われました。

### たたらと刀剣館



櫻井家・加部屋集成館

### 5年生

## 仁多米のひみつをさぐる

☆はで干した稲を脱穀。あっという間に籾が分別される様子に驚きの声も聞かれました。



☆長谷川さんにインタビュー。米作りの現状と課題を聞きました。



☆収穫祭において、これまでの学びを発表しました。



☆バケツ栽培で、枯れてしまった稲と順調に育った稲を比較して、条件の違いを検証しました。

長谷川さんの水田を利用させていただき、5月の田植えから始まった米づくり体験も、稲刈り、はで干し、脱穀を経て、完了しました。11月下旬には、これまで米作りでお世話になった方々をお招きしての収穫祭を実施しました。5年生は、学習で学んできた仁多米のおいしさの秘密や全国の米作りの特徴など、学級全体で調べた課題や一人一人の個別の課題について、追究してきたことを発表しました。そして、5年生が作った仁多米のおにぎりとお出雲の食材がふんだんに使われた豚汁(味噌は今年の3年生が地域の方々のご協力を得てつくったものです)、ゼリーをみんなで味わいました。最高のごちそうでした。

農業振興課 穴戸さんによる授業



★単なる焚火ではありません。炉を組み上げる底(炉底)を木炭でつくる作業です。



★杵で炭を粉末状になるまでたたきます。重労働です。



★炉の場所を決めて、最初の粘土ブロックを置きます。重要な作業です。



★子どもたちが作った粘土ブロックを積み上げていきます。最終的には高さ120cmまでつくります。